



意表を突くフレンチデザイン

2018年12月

はじめに

Phenomen（フェノメン）は、冒険とパートナーシップ、卓越性と挑戦から成るストーリーです。すべては予想外の出会いから始まりました。Sylvain Nourisson（シルヴァン・ヌリソン）にめぐり逢うことにより、Phenomen（フェノメン）の誕生に必要な技術的な土台を私は見つけました。彼とのデュオは、デザインの的であると同時に技術的なオブジェでもあるという私たちの時計のヴィジョンを反映しています。このどちらの要素が欠けてもいけません。時計は、視覚・触覚・聴覚といったあらゆる感覚に訴えかける喜びのオブジェです。

私は、ボディワークがメカニックスと同等に重要な自動車産業の出身です。そのため、一貫して統合されたこのヴィジョンを時計の世界で用いながら、生まれ育ったフランスの文化から多くの影響を受けたユニークで大胆な自分自身のスタイルも加えています。Phenomen（フェノメン）の時計はメイド・イン・フランスですが、フランス製というだけでなく、フランスらしいクリエイティビティを体現しています。

私達は、この新しいスタイルを他とは違うタイムピースを探し求めるコレクターの方々と共有するという思いを時計に託しています。今、私たちの歴史の第一章を皆様にお伝えできることを誇りに思います。

Alexandre Meyer（アレクサンドル・メイヤー）

共同創業者

PHENOMEN SAS

1 route de Marchaux – 25000 Besançon – France - +33 3 70 50 04 15 – www.phenomen.fr

I. フランスの冒険の誕生

1. « Phenomen (フェノメン) » ブランド名の由来

“Phenomenon”とは元来ギリシャ言語で、「見えるものの集合体」を表しました。時と共にこの意義は変化し、現在では「感覚により感じ取られるもの」を意味します。

どちらの定義も“Phenomen”のブランドのあらゆる面とマッチします。フェノメンは、時計製造分野での最上のものを組み合わせ、結集し、凝集して、目に見えて感じることでできる星座のように、時を超越した作品であるタイムピースに命を吹き込みます。このようにして誕生したオブジェは、そのカーブに触れ、ラインを眺め、機械キャリバーの音に耳を傾けることにより私たちの感覚を通して魅了します。

フェノメンはありきたりの時計製造から離れ、喜びを感じる規範にとらわれないブランドを目指しています。その作品たちは、時とともにその時間を提供してくれるタイムピースも楽しむことが出来るのです。私たちの目標は、ためらうことなく日常的に使うことのできる時計を作ることです。

Axiom (アクシオム) と命名したブランド初の作品は親密で力強く、機構の演出と斬新なデザインという時計の重要な 2 つの要素を備えています。フェノメンはこのコレクションで、斬新で大胆な“フレンチタッチ”の表れでもある個性的なデザインと高精度のキャリバーを融合させました。

2. 才能の交わり

多くの冒険がそうであるように、フェノメンは多くの出会いの中から生まれました。共同創業者 Alexandre Meyer (アレクサンドル・メイヤー) については、デザインと技術、動作と素材、夢と現実、それぞれを融合させたことが彼の経歴に大きな役割を果たしました。これらの要素が、時計産業で新たな情熱を見つけるまでの 10 年に及ぶ自動車産業でのキャリアを築く基礎となりました。

その後の出会いは、才能と創作者のものです。数年前からアレクサンドル・メイヤーとシルヴァン・ヌリソンの道が交差し、新たな道を開拓するためにチームを組むことになりました。それぞれエンジニアでありデザイナー、時計師でありコンセプターであるふたりは、自分たちの経歴と知識の強みの補完性を理解し、ひとはフェノメンの社長となり、もうひとりが技術と実務の指揮を執り仕切っています。

冒険を成功させるには、時に他の専門知識も必要となります。創業者のデュオに、時計プロトタイプ製作者 Maxime Colson (マキシム・コルソン) が加わりました。彼は、スイスで最も厳しい基準を持つマニファクチュールのひとつ、グルーベル フォルセイで 4 年間腕を磨きました。彼の手により、300 個以上の部品が数週間にわたって組み上げられ、フェノメンの時計に命が吹き込まれます。

彼らは、最初のデザイン画から組み立てまでの時計の誕生に際して重要なトリオを構成しています。すべての工程はフランスの Besançon (ブザンソン) で行われ、ムーブメント部品の製造は、Atokalpa (アトカルパ)、La Joux Perret (ラ・ジュール・ペレ) や Mimotec (ミモテック) など、“オーダーメイド”のムーブメント供給ができる数少ない会社の中でも名高いスイスメイドの独立した専門の会社に委ねられています。

PHENOMEN SAS

3. 3つの基礎要素

複雑なメカニクスと大胆なデザインを、理想的なサイズのオブジェのなかで一つにする。これが、Phenomen（フェノメン）を構成する根本的な 3 要素です。メカニクス、デザイン、そして日常的な喜びが、作品の中で常に相互作用しています。

近年、時計業界ではキャリバーに重きを置く傾向がありますが、フェノメンはそれと同じレベルの重要性をデザインに再び与えることを目指します。ムーブメントを撫でるような感覚を提供することが目標です。フェノメンが強く主張するのは、極めて完成された外観の仕上げ作業によるアイデンティティです。これは素材・角度・立体感・比率・仕上げといった細部にまで配慮されたボディワークで、フェノメンは視覚と触覚を同じレベルで満足させます。



1- アクシオム チタニウム ブラックダイヤル

4. フランスのクリエイティビティ

■ “フレンチタッチ” アプローチ

ハイエンドブランドに位置づけされる Phenomen（フェノメン）は、どのような方向性でも常にデザインとメカニクスの質を最優先し、フランスのクリエイティブな精神を吹き込んできました。

極めて自然体のフェノメンは、クリエイションにおいて、ある種のフランスの無作法を主張します。例えばデザインには、自動車産業から受け継がれた要素が明らかに見受けられます。すべての曲線は時計製造の観点のみではなく、車の世界観からも考えられています。それと同時に、フランシュ-コンテ地方に拠点を構える背景には、名高い時計製造の遺産を高く評価する意思があり、一部の部品の製造には地元のパートナーを選択しています。そして、高級時計ブランドというポジショニングにより、フランス式でクリエイティブな、独立したラグジュアリー時計を再構築したいという思いがあります。このセグメントは、今大きな可能性を持っていると確信しています。

PHENOMEN SAS

- 地元根差す、エキスパートのパートナー達

ブザンソンはフランス時計製造の中心地として有名ですが、この歴史的な認識以上にこの土地は、マイクロ&ナノテクノロジーにおける欧州のエコシステムリーダーとして発展してきました。

この地域の研究所 (Femto-ST) や、専門知識を持つ中小企業 (Groupe IMI, Jean Rousseau Manufacture, BD Product その他) により、フェノメンはフランス国内における部品製造に挑むことができました。

しかし、スイスの時計製造ノウハウに匹敵するものがない場合もあり、脱進機・调速機構周りは Atokalpa (アトカルパ)、ムーブメント部品は La Joux Perret (Prototec) (ラ・ジュ・ペレ (プロトテック)) で、レトログランド機構に採用される AgenEse®テクノロジーに属する部品は Mimotec (ミモテック) というように、主要な部品については卓越したパートナーに頼る必要がありました。

5. 2 人の創業者

Alexandre Meyer (アレクサンドル・メイヤー)

ブザンソン出身。Phenomen (フェノメン) の社長兼創業者。IFMA (フランス高等機械学院 / Institut Français de Mécanique Avancée) 卒業。

彼の経歴は、デザイン・技術・革新という極めて重要な 3 つの軸で形成されています。

学位を取得した後 2002 年、アレクサンドル・メイヤーは、自身を構成することになる資質を培う分野である自動車産業に携わり始めました。PSA 社ではまず、諜報とテクノロジーイノベーションの担当となり、自動車産業にインスピレーションを与える幅広い要素に日常的に接しました。

それと同時に、彼はパリの Créapole (クレアポール) でトランスポート・デザインを究めました。スタイルとテクニクという 2 つの異なった分野を結びつけ、その接点になるという彼のキャリアの方向性がしっかりと確立しました。PSA 社では彼の才能が認められ、グループの将来のクリエイションのデザインを開拓する部署である先進デザイン部門に配属されました。

2011 年に PSA グループを退社後、アレクサンドル・メイヤーは革新的なコラボレーションアプローチを採用し、デザインオフィスのヴァーチャル化を業務とする自身のデザインスタジオを築きました。彼の情熱から、この時には既に時計に関するプロジェクトも行なっていました。

2014 年パリとメスの街を後にし、アレクサンドル・メイヤーは時計のプロジェクトに専念するためブザンソンに帰る決心をしました。そこで、複数 (銀行・法人・個人・協会) から財政源を得て、フェノメンを創立しました。



PHENOMEN SAS

Sylvain Nourisson (シルヴァン・ヌリソン)

アヴィニョン生まれ。フランスのモルトー時計学校で DMA (工芸資格 Diplôme des Métiers d'Art) を取得後、Christophe Claret (クリストフ・クラレ) のマニファクチュールで数年にわたり比類ないタイムピースの開発や組み立てに携わりました。



3 - S. Nourisson/ヌリソン設計

2008 年からは時計開発会社に勤務し、複数の名高いブランドのためのプロトタイプの開発と製作を担当しました。

彼は常に向上を目指し、時計の構想段階により深く携わりたいという強い思いがあり、La Joux-Perret (ラ・ジュール・ペレ) では、開発部部長を務めるまでになり、Arnold & Son (アーノルド&サン) と Angelus (アンジェラス) の 2 ブランドの代表的な作品の開発をサポートする貴重な機会を得ました。特に彼はアーノルド&サンのため、堂々たる“コンスタントフォース”を含む 22 種類のモデルを開発・監督しました。

ラ・ジュール・ペレがシチズン社に買収されたことにより、シルヴァン・ヌリソンはシチズン・グループ全体の技術コンサルタントとなり、大規模なプロジ

ェクトに参加しました。シルヴァン・ヌリソンは、総計 50 モデル以上の開発に関与しました。2017 年、フェノメンの冒険に共に挑むことになり、テクニカル・オペレーションディレクターとして会社の発展を加速する任務を背負っています。

II. Axiom（アクシオム）-フェノメンのストーリーの第一章

1. 概要

最初のモデル Axiom（アクシオム）でフェノメンはフランスのクリエイティビティに焦点をあて、技術と審美性を融合させるその DNA を主張します。このモデルは、ブランド初の時計であり、フェノメンの土台であり、ブランド参入の出発地点という存在なのです。

他にはない独特で複雑なケースは、円形劇場の観客席のように見える部分で時間を読み取れるように、機構を高く展開する必要がありました。この設計は、テンプやガンギ車などの象徴的な機構要素について目を見張る演出により、他にはない視覚のエモーションをもたらします。



4 – アクシオム フルチタニウム ブラックダイヤル

PHENOMEN SAS

1 route de Marchaux – 25000 Besançon – France - +33 3 70 50 04 15 – www.phenomen.fr

2. 自動車からのインスピレーション...

Axiom（アクシオム）は、自動車愛好家のための究極のフランス時計を体現しています。スーパーカーに匹敵するこの時計は、レースドライバーのための“ドライバーズウォッチ”の長い伝統を引き継いでいます。ドライバーがコースから目を離さずに時間を読み取るという究極の目標を達成するため、このドライバーズウォッチでは、ダイヤルを傾けたデザインで時刻表示を行なっています。



5 - Chrysler/クライスラー300F のダッシュボード

フェノメンはこのコンセプトを考え直した結果、デザインと技術における新機軸のレベルに到達しました。アクシオムは、お互いに必要不可欠な存在の高級時計製造ムーブメントと前代未聞の外装デザインの共存により、唯一無二の作品となっています。これは、芸術のように高級時計製造を行う、他にはない包括的なアプローチです。

このようにして アクシオムは、流線形のフォルムを想起させるケースデザインで、ベゼルのフォルムは伝説的な Ferrari 365 GTB 4 Panther Shooting Brake などのシューティングブレークのリア周りを彷彿させ、Mustang Fastback の独特なラインを思い起こさせます。



6 - Ferrari Shooting break Panther & Ford Mustang Fastback

PHENOMEN SAS

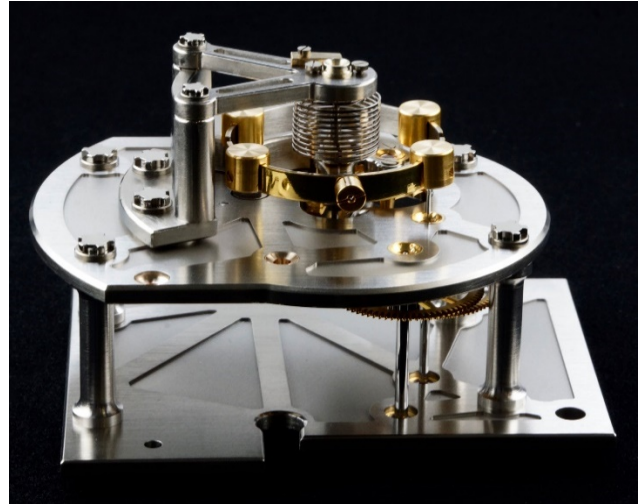
1 route de Marchaux – 25000 Besançon – France - +33 3 70 50 04 15 – www.phenomen.fr

3. ...そして、航海から

マリנקロノメーターのムーブメントは、平面ではなく多層構造となっています。キャリバー PH-010 も同様に、第1層には2つの香箱と輪列、そして巻き上げシステムが配置され、2つのレトログラーード機構は第2層にあります。そして、第3層には脱進機支えが入ります。マリנקロノメーターのように、この設計構造は空間を最適化し、特にエネルギー源（香箱）と调速機構というどちらも時計の精度に重要な装置に使えるスペースを増やすことができます。

しかし、キャリバー PH-010 は他の特徴を備えています。横から見ると半ピラミッド形に見えるムーブメントは、ケースの傾きにフィットし一体化します。

このようにキャリバー PH-010 は、古き良き時代の時計作りを讃え、斬新な技術的解決策を複数搭載しています。そして受けの形から第3層を支える柱の使用まで、あらゆるディテールに込められた配慮と美しいものへの愛情も感じ取られます。



7 – chronomètre de marine

4. スタイル・外観・感触

アクシオムは、困難な状況における時刻表示の最適化・人間工学・新しい時計デザインについての長期間にわたる熟考の賜物です。機構の複雑さとその流れるようなデザインはスピードを想起させ、美しくパワフルな現在のスーパーカーを受け継ぐに値します。全方向から見られることを前提に作られた可動式のオブジェのように作られたアクシオムは、どの角度から見ても曲線が調和するようにデザインされたミドルケースの立体感に特別な配慮がなされています。このバランスを作り出す作業に、自動車デザイナーのノウハウが隠れているのです。基礎となるデッサンに加え、多数の画像を駆使してオブジェに全体的な一貫性をもたらしています。

・瞬時にわかる情報

アクシオムは、斬新でダイレクトな時刻表示にすることで差別化を行ない、通常 360 度を駆け巡る表示を 100 度の範囲に集中させて、人間の目が即座に情報を読み取れるようになっています。



8 - AXIOM

・最適化された時刻の読み取り

順序に従い上部のインデックスで“時”を 100 度の範囲で表示し、下部のインデックスでは 85 度を使って“分”を表わす、2 種類のインデックスで情報を伝えます。この 2 段階表示により、いかなる場合でも、時針と分針が隠れたり、時刻の読み取りの邪魔となることはありません。これら 2 種類の表示はレトログレード式で、スタイルの統一感を保っています。時間の表示は、レトログレード式であるというだけでなく、ジャンピング式でもあります。このダブルコンプリケーションのおかげで、容易に時刻の読み取りができます。時間を表わす針は、時間ごとに瞬時に連動してジャンプするので決して時刻を読み間違えることはありません。



9 - AXIOM

PHENOMEN SAS

・革新的なケース

曲線と緊張感のあるラインで描かれたケースフォルムは、この最適化された視認性を完璧にします。技術的には複雑なアクシオムですが、程よいサイズ感で快適な着け心地を提供します。

アクシオムは、伝統的なケース設計を改善する機能的な向上点も備えています。通常、時計のラグ部分は固定され、この剛性が時計を手首にフィットさせるのを阻んでいます。この人間工学上の欠点を改善するため、アクシオムは、6時側のラグが大変短く、12時側のラグは可動式となっています。この2つの要素を組み合わせることにより、どのような手首のサイズにも時計が完璧にフィットするのです。



10 - アクシオム フルチタニウム ブラックダイヤル

・改良された時刻合わせ

時表示と分表示の調整を切り離すことにより、誤操作を避けることができ、それぞれの表示に即座にアクセスしやすくなりました。このシステムは特にタイムゾーンの変更などで、“分”がずれることなく“時”を迅速に変えて調整できます。そのため、時計には2つのリューズが備わり、分合わせのリューズで時計の巻き上げを行うことができます。この2つのリューズは12時位置にあるため、装着感がさらに高まっています。

この12時位置の配置も自動車と航空産業に由来し、タイムピースの対称性と流動性そして美しさに貢献しています。遊び心があり革新的なこれら2つのリューズは、オーナーと時計の間だけの相互関係を築いてくれます。

PHENOMEN SAS

・ロングパワーリザーブ

連続して配置された 2 つの香箱により、アクシオムは最適化したエネルギーの流れだけでなく、4 日以上に値する約 100 時間のパワーリザーブを備えます。レーサーカーのエンジンのように、キャリバー PH-010 はそのサイズとパワーの完璧な比率を保つために設計されています。多層式の構造のおかげで、従来の設計構造ムーブメントでは十分なスペースを持つことのできない 2 つの大型の香箱を搭載することが可能となりました。もう一つ自動車との共通点があります。それは香箱の最後の受けが、スーパーカーのリアエンジンの構造に似ていることです。



11 - キャリバー PH-010



11 - M. Colson (M. コルソン) - フェノメンの時計師

PHENOMEN SAS

1 route de Marchaux - 25000 Besançon - France - +33 3 70 50 04 15 - www.phenomen.fr

技術的な特徴

重要な位置を占める脱進機支え

時計の鼓動を打つ心臓部分は、機械式時計全体の時を調整する調速機構で、時計の中でも最も魅了し、そして繊細な部品群から構成されます。これらの源流は高級クロックにあり、伝統的に脱進機支えはタイムピースの上にセット構えており、特に馬車用クロックの前身のオフィサークロックなどはそうでした。ここでは、フランスのトラベルクロックの製造中心地である Montbéliard（モンベリアル地方）の時計作りを讃えています。

Phenomen（フェノメン）は、脱進機支えを文字盤側のムーブメントの頂上に配置することにより、敬意を表わすことに決めました。そのため、クラシックな脱進機支えの設計を再解釈し、それを搭載するために、今までにないムーブメントの構造を発明しました。それぞれ固有の受けに支えられたテンプ・アンクル・ガンギ車は対称に並置されているため、各部品を眺めることができます。可変慣性テンプは4つのゴールド製のマスロット（慣性ウェイト）によって調整し、テン輪は円形ではなくケルト斧の形にカットされ、摩擦係数を減らしテンプの効率を高めます。

調速機構のすべての構成部品（ひげぜんまい・アンクル・ガンギ車）が、ムーブメントから取り外すことのできるプレート（脱進機支え）上に並んでいます。この設計により、時計の調整とメンテナンスが容易になります。

この時計のすべての魔法は、調速機構と時刻表示の前代未聞の並置にあります。このように時間の源と表示は隣り合わせになっていますが、これらの機械的なつながりは秘密のままです。脱進機支えは12時位置に堂々と構えています。が、ムーブメントのその他の部分との明確なつながりはありません。



12 - キャリバー PH-010

革新的な組み立て方法

チタニウム素材の選択は、その機械的耐久性と軽量さのために必要不可欠でした。アクシオムの外形の大きさを抑える考えから、ケースとムーブメントの革新的な設計に到達しました。一部のスーパーカーのように、機構部品の一部を下から組み入れ、その他の部分を上から組み入れます。キャリバー PH-010 をケースと組み合わせるときは、どちらかという従来ケーシングというよりは建設に近い方法となります。



13 - アクシオム フルチタニウムシューティングブラック

技術仕様

機能

- 円錐型の円形劇場型の一体型 3D 針と連動するレトログランド式ジャンピングアワー
- 円錐型の円形劇場型の一体型 3D 針と連動するレトログランド式分表示
- 時表示と分表示の分離型調整機能

ケース

- チタニウム（グレード 5）
- 縦：47 mm
- 横：42 mm
- 厚さ：17.3 mm
- 無反射処理を両面に施した上部コックピットサファイヤガラス
- 無反射処理を施したサファイアクリスタル（シースルーバック）
- 2つのリュース：巻上げ + 時調整 / 分調整
- 防水性：30m 防水
- 仕上げ：ポリッシュ/サテン / マイクロブラスト仕上げ

ムーブメント：フェノメン専用ムーブメント（Cal. PH-010）、フランスで構想及び設計

- 手巻きムーブメント、ツインバレルと独立した脱進機支え
- 可変慣性の独自のテンプ
- 28,800 振動/時；4Hz；45 石
- 連続して配置されたツインバレル
- パワーリザーブ約 100 時間
- レトログランド機構のための AgenEse® テクノロジー
- 仕上げ：手作業による面取り/ ポリッシュ / サテン/ マイクロブラスト / ラッカー加工
- 構成部品点数 267 個

表示機能

- 円錐型の円形劇場型の一体型 3D 針で時表示
- 円錐型の円形劇場型の一体型 3D 針で分表示

ストラップ

- アリゲーター
- 独自のフォルディングバックル、チタニウム（グレード 5）、微調整システム付き

価格

- ・アクシオム フルチタニウム ブラックダイヤル：8,500,000 円（税抜）
- ・アクシオム フルチタニウム シューティングブラック：9,000,000 円（税抜）

限定数量：各 60 個

※年間生産本数：約 50 個（2018 年 11 月現在）

PHENOMEN SAS

1 route de Marchaux – 25000 Besançon – France - +33 3 70 50 04 15 – www.phenomen.fr

III. お問い合わせ先

PHENOMEN

1 route de Marchaux
F-25000 Besançon
France



14 - フェノメン・フランスのマニュファクチュール

【読者お問合せ先】

オールージュ

〒105-0001 港区虎ノ門5-11-1 オランダヒルズ森タワーRoP 807 Tel: 03-6452-8802 www.eaurouge.tokyo

【本件に関するお問合せ先】

株式会社 EAU ROUGE 加藤恵美

〒105-0001 港区虎ノ門5-11-1 オランダヒルズ森タワーRoP 807 Tel: 03-6452-8802 Email : kato@eaurouge.tokyo

株式会社ドラゴンアーツ 水谷竜太郎

〒150-043 渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティW22F

Tel : 03-4360-5608 Mobile : 080-4813-0098 Email : lou_mizutani@dragon-arts.jp

PHENOMEN SAS

1 route de Marchaux - 25000 Besançon - France - +33 3 70 50 04 15 - www.phenomen.fr